



スポーツの話が弾んだ座談会

市史編さんだより



座談会

「市民生活とスポーツ」

—健康で豊かな21世紀を目指して—

出席者

井 薫 氏（オムロン熊本ハンドボール部副部長）

田中 久幸 氏（熊本工業高等学校野球部監督）

山口みどり 氏（主婦）（50音順）

三角 保之 熊本市長

坂口 勝彦 現代専門部会専門員

『新熊本市史』現代篇には「市民生活とスポーツ」の項目があります。今年は世界ハンドボール選手権が熊本で開催され、また2年後には熊本国体も迫っています。そこで市長を囲んで、スポーツに関わりの深い皆さんにお集りいただきました。スポーツ談義に花を咲かせてもらいました。

（文中敬称略）

印象深い熊本勢の活躍

坂口 今年の熊本のスポーツ界は幸先良いスタートを切りました。1月12日の全国女子駅伝で本県は、見事初優勝。しかも、そのメン

発行日
1997(平成9)年3月30日
編集・発行
熊本市
新熊本市史編纂委員会
熊本市手取本町1-1
市史編纂課
☎328-2038・2903

目 次

▽座談会「市民生活とスポーツ」	1
▽池辺寺跡 発掘調査の概要	6
▽日誌抄	8
▽横井家の人々の思い出（三）	10
▽史料調査にご協力いただいた方々	11
▽編集後記	12

バーのうち4人が熊本市立商業高校O.B.現役とあつては市長も鼻高々といったところではありませんか。

市長 いやあ、感激でした。ゴールの瞬間は涙ぐんでしまったほどですよ。

坂口 まさに肥後乙女のパワーを見せつけられました。一般的にも熊本は女性の方が強いみたいですね。市の体育指導委員もなさっている山口さんはどうお思いですか。

山口 さあ、どうでしょう。でも、男性を立てて居るのはちゃんと立てているのが熊本の女性です。そこはご心配なく（笑い）。それに、私の愛好するバドミントンでは男子も強いですよ。

坂口 女子駅伝に限らず、昨今の熊本勢の活躍は印象深いものがあります。中でも昨夏の甲子園の熊工の準優勝は興奮しました。例の10回裏一死三塁のライトフライ。返球がもうちょっとそれでいたらと、つい思つてしまい

ます。田中監督、振り返つていかがですか。



田 中 久幸さん

優勝の違いは年月が経つにつれ感じてくることかもしれません。選手諸君は十二分に持てる力を發揮してくれました。負けたことを多くあります。あれを踏み台にして、また一步からです。

市長 実は、熊工には市政の面でも感謝しているんです。決勝戦の翌日がちょうど建設省への陳情の日でした。名刺を出しますと「ほう、熊本ですか」と話が弾みましてね。

ああいう場では雑談を交わせるかどうかが一つのポイントみたいなところがあります。それが熊工のおかげでスムーズにいきました。

坂口 高校野球では、昭和33年春のセンバツ

の済々賀高校の優勝も思い出されます。ハンドボールの井さんと三角市長は共に済々賀出身でいらっしゃいますが。

井 私が東京へ出ですぐのことでした。母校の優勝が誇らしかったですね。それは県外にいる熊本出身者すべてに共通したことだつたと思います。ふるさとを離れて暮らしていふる者にとってどれほど励みになつたかわかりません。

市長 私は当時のナインの末次や城戸らとは同級生なんです。センバツ出場が決まつた時、

私たちのクラスは美術の時間でした。途中、城戸が先生に呼ばれて教室を出ていき、帰つてくるなり「決ましたぞ!」私たちもびっくりしましたね。というのは、あの時、熊工が確定的でしたので、熊本から2校は無理だろうなと思いました。ところが、記念大

会ということで、出場校を少し増やそうとうことになつて済々賀は追加という形で選ばれたわけです。応援団も急きよ結成する始末で、ましてや優勝パレードの準備は大変でした。あのあと、私は東京で大学生活を送りましたが、その4年間、済々賀ということで随分得をしました。野球部の彼らには今もつて感謝していますよ。

坂口 こうなると、夏の甲子園でもぜひ熊本勢の優勝の期待がかかります。

田中 そうですね。九州では福岡、佐賀、鹿児島、大分と優勝していますから負けてはおられません。先日、熊本市内の野球部の監督さんたちとの集まりで、熊工の活躍は熊本で勝ち抜けば全国でも通用する—そのことが証明された意味も大きいと言われました。お互

い切磋琢磨して頑張ればきっといい結果が出せると信じています。

ハンドボールのメツカ



井 薫さん

うして熊本で行われることになったのでしょうか。

これまで小学生から社会人まで92勝を数えます。世界選手権やオリンピックの選手も何人も輩出しています。まず、この実績が背景にあります。

坂口 “ハンドボールのメツカ” というわけですね。

井 そうです。ただ、ハンドボールが盛ん

な県は熊本だけとは限りません。それぞれが自分のところがメツカと自負していることだろうと思います。しかし、日本で世界選手権をやろうということになつて、熊本が名乗りをあげると、「熊本がそう言うのなら仕方がない」「納得」といった感じでした。ここが

重要な点です。それは熊本が日本のハンドボールを支えてきた長い歴史があるからです。その基礎を築かれたのが、済々賀高校の藤田八郎先生、熊本市立高校の北川浩先生、玉名高

校の四宮重信先生です。この3人の方は終戦の翌年の第1回国体に西軍選手としてそろつて出場、優勝を飾っています。その後、指導者として後進の育成に心血を注ぎ、熊本の、そして日本のハンドボールを育て上げてこら



熱戦が期待される男子世界ハンドボール選手権大会
(写真は昨年の全日本とスウェーデンの国際親善試合)

れました。生みの親といつて過言ではありませんません。だからこそ、開催地として熊本がすんなり決まったのだと思います。

坂口 なるほど。日本のハンドボールは熊本に始まるといつてもいいわけですね。今回の世界選手権ですが、その意義はどんな点にあると思いますか。

井 24か国の中が参加しますが、ハンドボールは特にヨーロッパでとても盛んなスポーツです。選手、役員はもちろん、応援団も大勢やって来ます。そうしたヨーロッパをはじめとする世界の方々に熊本を知つてもらうまたとない好機です。それと、これからは何といつても国際化の時代です。街に外国の

方があふれるだけでも良い体験になると思いますし、私としては青少年に良い影響を与えてくれることを願っています。私たちハンドボール協会はバレー・ボルやサッカーなどと違い、自分で世界大会が開けるまでには至っておりません。どうしても行政のバックアップが必要です。今回、開催の運びとなつたことは熊本の皆さんに心から感謝していますが、熊本としても大きな成果を得られるのではないか、やつてよかつたと言つてもらえるのではないかでしようか。その自信はあります。

市長 熊本を世界に売り出す絶好のチャンス

です。ぜひとも成功させねばなりません。そこで協会も心配しているのが集客の問題です。その対策ですが、24か国からお見えになりますから学校単位で地域単位で、あるいは職域、企業ごとにそれぞれが一つひとつこの国に張り付いてもらつて応援していただけないものか。サッカーのサポートのよな仕組みをつくることで熱が入り、盛り上がりも随分違つてくるものと思います。演出の一環としては、電車通りと県庁前通りに万国旗をズラッと飾るための工事にも取りかかっているところです。

山口 世界各国からお出でになるのですから、その方たちに熊本を楽しんでもらい、気持ちよくお帰りいただきたいですね。私たちのグループでも大いに協力し、応援していくと話している

方があふれるだけでも良い体験になると思いますし、私としては青少年に良い影響を与えてくれることを願っています。私たちハンドボール協会はバレー・ボルやサッカーなどと違い、自分で世界大会が開けるまでには至っておりません。どうしても行政のバックアップが必要です。今回、開催の運びとなつたことは熊本の皆さんに心から感謝していますが、熊本としても大きな成果を得られるのではないか、やつてよかつたと言つてもらえるのではないかでしようか。その自信はあります。

井 その点については十分対処します。また、メイン会場の「パークドーム」ではミニ

F.M.放送で解説付きの実況も予定しています。この機会にハンドボールにふれてください。

“走る、飛ぶ、投げる、ぶつかる”ハンドボールにはスポーツの魅力が全部つまっています。

田中 選手の皆さんに「水」を始め、熊本のよさを見てもらうとともに、ぜひ「もてなし」の心でお迎えし、喜んで帰っていただきたいですね。

市民参加の熊本国体へ

坂口 世界ハンド選手権の2年後は熊本国体が控えています。21世紀にまさに差し掛かるうとする1999年(平成11年)開催ということで「くまもと未来国体」の愛称も付いてますが、中心となる熊本市の受け皿づくりはどうですか。

市長 熊本市は夏季、秋季大会合わせて12種目をお引き受けします。会場整備については3000人収容の熊本市総合屋内プール建設をはじめ順調に進んでいます。アクセス道路はJRの高架問題と関連してきますので、その点も踏まえながら整備していきま

ところです。できればボランティアもやつてみたいですね。ただ正直言つて、ハンドボールという競技にいま一つ馴染みがありません。ルールをわかりやすく解説したガイドブックなどがほしいのですが。

す。運営に支障が出ないよう万全を期してまいります。

坂口 国体では、山口さんたち体育指導委員の方たちの出番も増えそうですね。



山口みどりさん

A black and white portrait of Miidori Yamaguchi, a Japanese figure skater. She is wearing a dark blazer over a light-colored turtleneck sweater. Her hair is styled in a short, dark bob. She is smiling at the camera. The background is dark and out of focus.

坂口　田中監督はいかがですか。

中 来年 熊本は100周年なんですが、それに続いての熊本国体というわけで気合も一段と入ります。このところ熊本は着実に力を

つけていいるようですので地元での活躍が楽し
みです。また、国体の後には必ず身体障害者
スポーツ大会や高校総体なども開かれますね。
そこまで日を向けた大会であつてほしいと思
います。

市長 最近、パリアフリーということがしきりに言われ、スポーツの世界でもそれがどんどん進んでいることを実感します。重度の障害を持つ方の参加も年々増えてきました。そ



三角市長

れができるのもボランティアの方々の協力があつてこそで、この全国身体障害者スポーツ大会は国体とはまた違つた意味での感動がいっぱいです。私は過去4度、県選手団の団長として行かせてもらいましたが、その経験も生かして熊本大会では一つ提案があるんです。それは歓迎のマスゲームの際、選手の皆さんにはサブグラウンドで待機なのです。これを熊本大会から会場に入つてもらうようにしたいのです。その結果、入場行進はうまくいかなくなるかもしれません、それで構わないと思いますよ。

山口 大賛成です。形式も大切ですが、それよりも内容です。選手の方々がなにより喜びますよ。

四

井 91年のスポレクからこの10年はスポーツの催しが日白押しです。国体にしても市民

がどう参画できるかが最も重要でしょう。この10年を経た熊本が楽しみです。ところで、これは福島国体の関係者に聞いたのですが、成績を上げることに熱心なあまり、離婚に追いこまれた監督やコーチはざらだそうですよ（笑い）。

市長　國体が年々華美になるという批判も強

るという批判も強いものがありますね。そこで今年の大坂国体から縮小していくということになりました。ど

の程度抑えられるのか、私も大いに注目しています。

坂口 もう一つ問題になるのが開催県の天皇杯獲得。どうしても取らなければならぬの

市長 市としましては、わずかではあります
が、競技力向上対策の予算を組んでいるところ
であります。また、見苦しくない成績をとい
うことで：（笑い）。ともかく熊工が良い例で
はありませんか。優勝以上に評価されました。

誰でも・いつでも・どこでも
坂口 高齢化社会を迎えて、生涯スポーツの
重要性がますます増してきました。「スポー



(仮称) 熊本市総合屋内プールの完成予想図

市史編さんだより

ツと市民」という観点から皆さんのお考えをお聞かせください。

井

そのことで、頭に浮かぶのがヨーロッパのクラブ制度ですね。仕事を終えた一家の主人が奥さんや子供たちを車に乗せてスポーツクラブへ出かけます。そこで思い思いのスポーツを楽しんだあとはレストランで食事。そうした過ごし方が暮らしのスタイルとして根付いているんです。その根底にあるのはスポーツは文化であるという考え方。「スポーツ文化」という言葉をわが国でも身近なものとして定着させていくことが大事ではないか。

訪欧してつくづく感じました。まず、歩くことからスポーツを始めたらいかがでしょう。

田 中 高校野球の監督の立場から言えば、ス

ポーツは人づくり。要是社会に貢献できる人間に育て上げることです。従つて技術の指導はもちろん、精神面やしつけにも力を入れています。市民スポーツへのアドバイスとしては、汗をかく有り難さを忘れないことです。それが自分の健康にはねかえってきます。だから楽しみながら、でも一生懸命やつてください。一生懸命にならないと良い汗はかけません。

山 口 私はスポーツをやつて本当によかつた

遊ばせるというか、スポーツ本来のおもしろさを教えてくれる指導者が市民スポーツには欠かせません。

坂 口 市民スポー



坂口 専門員

ツ、生涯スポーツの原点は「誰でも、いつでも、いかがいを感じるまちづくり」、美しいものを

美しいと感じる「豊かな感性を育むまちづくり」も掲げていますが、このすべてを生涯スポーツは組み込んでいるんです。ラジオ体操でもペタンクでも各自に合ったスポーツを楽しんでほしいと思います。

市 長 一昨年、スポーツ振興審議会の答申をいただきました。それに基づいて進めているところです。統計をみると、何らかのスポーツを楽しんでいる市民は年間延べ230万人にも上っています。ただ、これはあくまで統計上であつて、スポーツに縁がない方も大勢いらっしゃるわけです。そのため大きな理由の一
つに場所がないことが挙げられます。

田 中 防災公園などは、まさに一石二鳥のアイデアですね。ただ、私は熊本に帰ってきたばかりで、ついよそと比較して見ますが、不親切な点も多々ありますよ（笑い）。

市 長 これは耳が痛い（笑い）。

田 中 例えば、江津湖です。ジョギングや散歩のコースとして申し分ありません。それが中の島へ段差の大きい橋が五つも架かっていて邪魔しています。

市 長 いいことを言つてくれました。実はあ

の五つの橋については9年度に3基、10年度に2基の工事を実施して平面化するようになります。それにしても予算を計上していくあるようです。そこで今、私が考えているのは防災公園の活用です。市政の柱の一つに抑えられてしまっているといつたことがよくある方がいらっしゃいます。これでは初心者は長続きしないと思うんです。やはり、まずは

べてに小型防災公園を、さらに中型を10か所、

市 長 いいことを言つてくれました。実はある

グラウンドは早起き野球やナイターソフトに抑えられてしまっているといつたことがよくあります。今後ともどしどし注文を付けてください。

坂 口 本日は楽しい話をいろいろとありがとうございました。

(この座談会は、2月14日に開催したものです。)

池辺寺跡

発掘調査の概要



市教育委員会 文化課

網田龍生

熊本市池上町にある日露戦争記念堂の広場には、「池辺寺跡」記念碑が建てられている。明治三年に廃寺となつた、後期池辺寺（中世以降）の跡地である。

池辺寺の名の由来は、味生池のほとりに建てられたことにより、池上町の地名もこの味生池に由来するといわれている。『續日本記』によると、味生池は和銅年間に国司道君（おひさま）によって築かれた溜池である。現在は埋没して池の姿をとどめいないが、独鉢山と万日山に挟まれた低地一帯が有力視されている。

第六の説話に登場する金子塔は、西平山中腹に現存する。その存在は古くから知られ、江戸時代以来何度も鈴・鉢をもつて修法することで雨を降らせた話である。

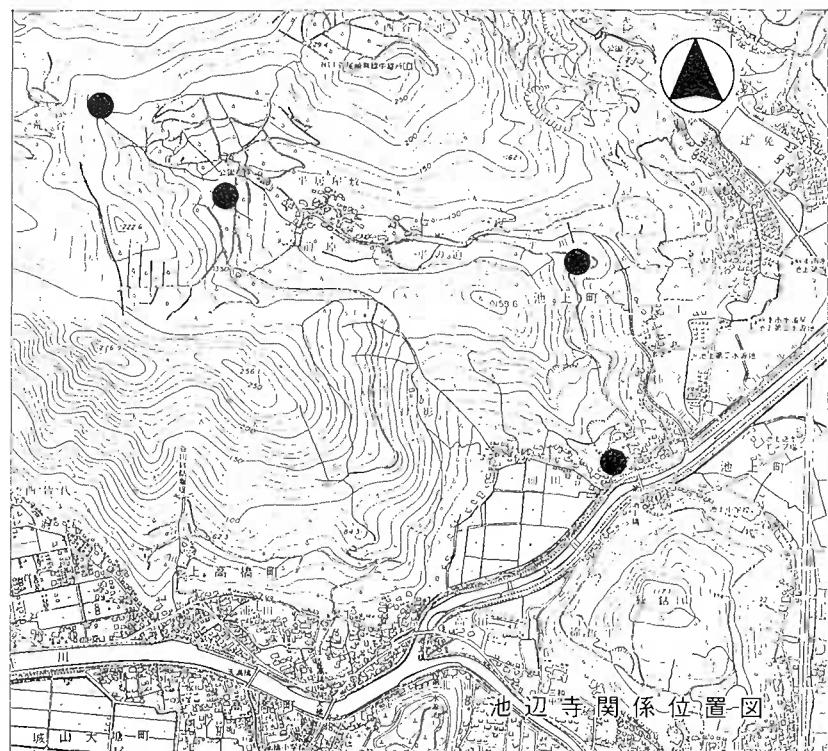
四年には、故松本雅明熊本大学教授によつて

判読されている（「池辺寺考」『熊本史学』七号）1959年）。それによると、主に「池辺寺は天台別院であり、その側の百塔が根本の説話が描かれている。第一は、味生池に住む悪龍が民を害するため、高僧真澄が朝廷の命を受け、和銅三年池のほとりに寺を建て、大法会を続けることによって龍害を治めたという創建の話である。第二は、弘法大師が唐から日本に投じた法器（独鉢・三鉢・五鉢）のうち独鉢が池辺寺に落ちた話で、独鉢山の

名の由来を示している。第三は、仙海和尚の師であつた相應和尚から振鈴が届く話で、仙海の出自も伝えてある。第四は、仙海が惡龍を転生させ、旱魃の際鈴・鉢をもつて修法することで雨を降らせる約束を得る話である。第五は、仙海の前に白幣・履物・神章を携えた三匹の猿が現れる話である。第六は、金子觀音と貞

元元年（976年）焼亡の話で、建武四年（1337年）建立の石碑（金子塔）にまつわる話である。第七は、承暦年中に大旱魃に見舞われた際、天皇の命を受けた快珍和尚が

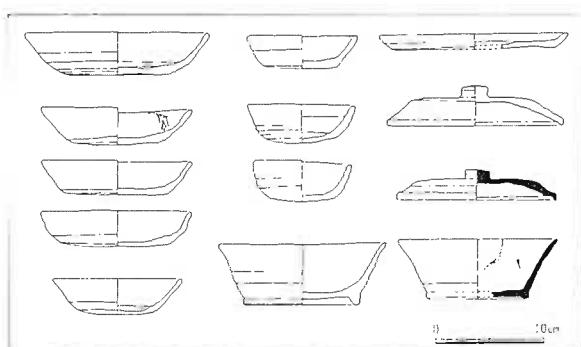
鈴・鉢をもつて修法することで雨を降らせた話である。



金子の塔

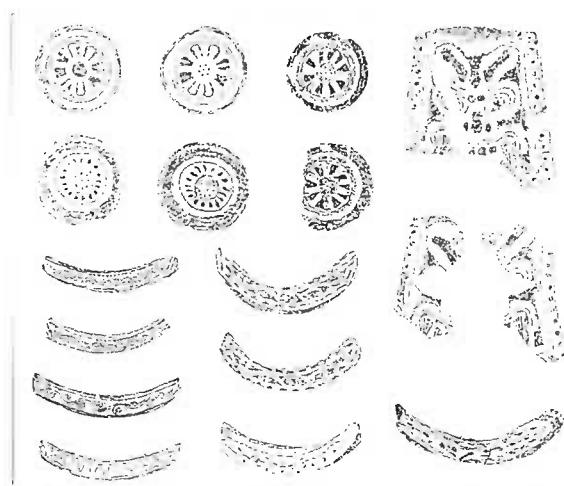
市史編さんだより

る。



堂床遺跡出土土器実測図

金子塔から山道を下ると、字平居屋敷（旧小村名：平）に集落がある。前述の記念堂から2キロメートル弱上がった辺りに位置する。その平集落を少し上がった所に、「百塚」と呼ばれる区域がある。また、記念堂から平集落に向かう途中には「堂床」と呼ばれる区域がある。この二地点からは土器・瓦が採集されていたが、昭和四二年度に熊本市教育委員会によつて周辺の踏査が行われ、乙益重隆・鈴木喬氏らによつて「百塚遺跡A・B地点」「堂床遺跡」「後期池辺寺跡」の詳細な報告（熊本市教育委員会、1969年）がなされている。松本氏の論功と乙益・鈴木氏らの踏査報告によつて、古代池辺寺の存在が兩遺跡に想定



百塚遺跡C地点出土瓦拓影

されたものの、様々な疑問に答えるためには発掘調査が期待されていた。昭和六一年度熊本市教育委員会は、市内重要遺跡確認調査として百塚遺跡・堂床遺跡の発掘調査に着手し、以後調査を続いている。その10年に及ぶ発掘調査の成果や池辺寺をめぐる多くの論点について調査報告書（『池辺寺跡I』熊本市教育委員会、1996年）に詳しい。以下に調査成果の概略を紹介する。



真上から見た建物基壇跡

堂床遺跡では、土器・瓦だけではなく塔心礎石の存在が知られていたが、発掘調査によつて3メートルを超す岩の根元から数百点の土器が出土している。九世紀初頭頃の土器群で、祭祀跡である。瓦は、九世紀前半のものと想定されている。瓦と心礎が塔跡の存在を示すならば、祭祀跡とは時期差がある。塔跡を直接示すような遺構は、確認されていない。

百塚遺跡では、これまで知られていたA・B地点（ミカン畑）ではなく、より西側の雑木林地をC地点として、まず私道沿いの緩斜面が調査された。樹木伐採・除草後、表土を數十センチメー

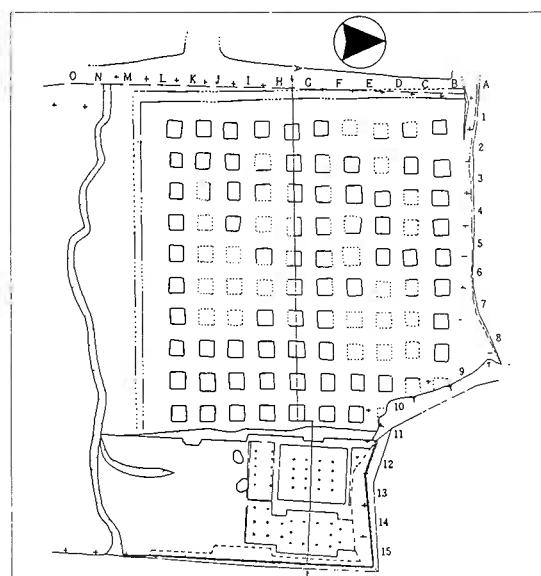
トル剥ぐと、平坦な石と土器・瓦が出土した。平坦な石は建物の礎石で、自然石積みの基壇により構築されている。建物は西側に本堂を構え、回廊様に5棟の建物が隣む。本堂には埠（素焼きのタイルのようなもの）が敷かれていた。各建物の軒下には雨落溝が伴い、多くの瓦・土器が出土している。九世紀後半のもので、建物群が廃棄された時期を示している。

建物群の背後には高さ1メートル程の石垣が築かれ、広い斜面と区画している。石垣には2か所に階段が残っている。一つは本堂建物の背後にあり、建物と階段の間には切り石作りの溝・暗渠と玉砂利を敷き詰めた空間、精巧な雨受けなどが置かれる。また、門扉の存在を思わせる柱穴もある。いずれも、この建物群の中で最も精巧な造りであり、重要な部分であつたと認識される。

階段を上ると、石垣の背後に百基の石積みが並ぶ。調査前は斜面一面に石が散乱した状態であつたが、不要な石を除いていくと、一辺2.4メートル四方の方形の石積みが確認できた。地元では、古い墓（塚）がたくさんあると言い伝えられていたため、開墾されていない区域であった。調査の結果、墓ではなく石積みの塔が百基（十×十列）並んでいることがわかった。さらに、百基の石塔を囲むようにならに石墨が築かれており、明確な区画がなされている。石墨の脇からは灯明皿が多量に出土しており、火を灯した痕跡が残る。時代は建物群と同様で、九世紀後半～末に廢棄されたようである。

金子塔の碑文にある「百塔」は、莊嚴な建物群を伴つて実在していた。しかし、碑文の全てが証明されたわけではない。特に「貞元元年焼失」については否定的で、約百年の時期差がある。遺物による時期判断の誤りの可能性も残るが、少なくとも状況証拠から火災にあつたとはいえない。碑文内容の再検討があるいは他の地点に該当する遺跡があるのか、今後に課題が残る。隣接する百塚遺跡A・B地点の調査が期待される。また周辺には金銅製胎内仏が採集された「馬場ドン」「来迎院ビラ」など興味深い地名も多い。

現在、調査は周辺での確認作業に重点を移している。石塔・建物群の周辺にはどのような施設が設けられていたか、池辺寺としての全体構造はどういうものか、どのように変遷



百塚遺跡C地点遺構配置図

していったのか、創建の時代はいくつかなど、廃寺に至るまでの長い歴史の中で様々な解決すべき課題がある。また、全国でも希有な遺跡として評価の高い百塚遺跡C地点の石塔・建物群の保存も最重要課題の一つである。

池辺寺に伝わる宝物・古文書・絵巻・仏像などは、地元の池辺寺跡財宝管理委員会によって保存されており、毎年9月10日には記念堂において「観音祭」が開かれている。古の言葉に真摯であり続ける地元の方々によつて、池辺寺は受け継がれていく。

事務局注

「池辺寺跡」は平成六年（1994年）に県指定史跡に指定されており、現在国指定を申請中です。

日誌抄

1996年（平成8年）後半

7.16 自然史料調査（植生図作成事前調査打ち合わせ）

7.17 原始・古代史料調査（通史編「自然・原始・古代」の古代章立て）

7.19 第29回自然専門部会（通史編「自然・原始・古代」の自然章立て方針）

7.22 第44回部長会議（通史編の編集項目、年表の体裁、経済の取り扱い）

7.23 近代史料調査（通史編「近代I」編集内容）

7.24 原始・古代史料調査（通史編「自然・原始・古代」の原始・古代章立て方針）

7.26 近代出張調査（京都市同志社大、小楠関係）

7.27 近世史料調査（史料編「近世III」編集項目）

7.29 近世史料調査（永青文庫原本照合）白

7.31 然史料調査（植生図作成現地調査の事前調査）

7.30 近代出張調査（京都市歴史資料館）

7.31 中世史料調査（通史編「中世」の編集内容）

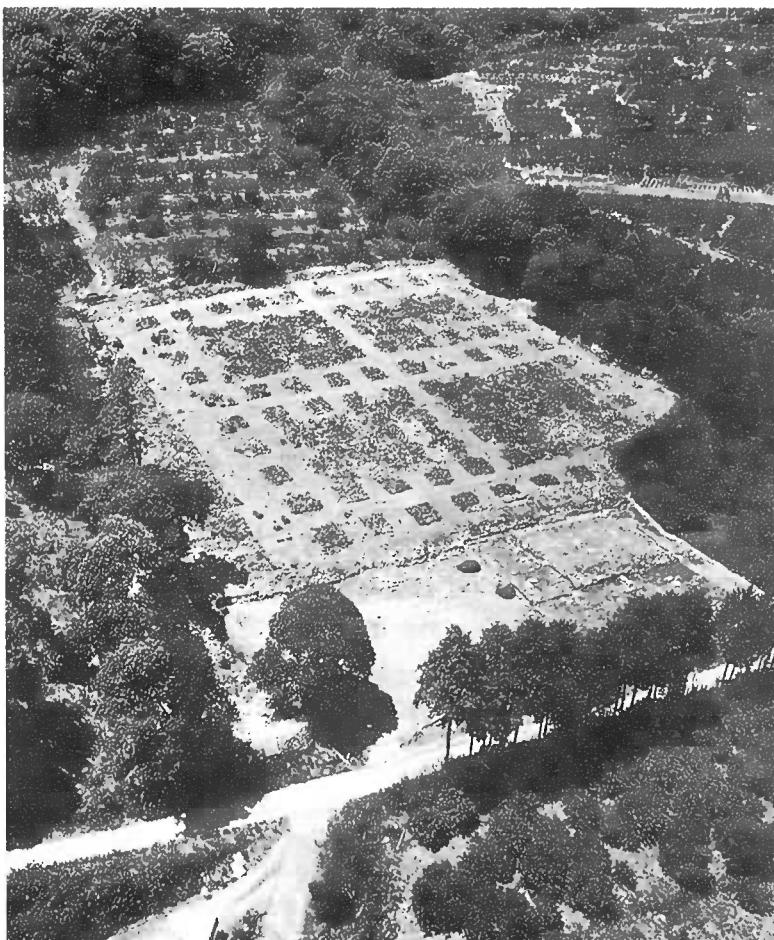
8.2 自然史料調査（植生図作成現地調査の事前調査）

8.6 現代史料調査（通史編「現代I」の進捗状況と校正）

8.7 自然史料調査（植生図作成現地調査の事前調査）

8.8-9 近世史料調査（中根家文書調査）

8.9 自然史料調査（植生図作成現地調査の事前調査、通史編「自然・原始・古代」使用の古写真）



(上) 東南上空から見た百塚遺跡C地点

(右上) 基壇西側溝の凝灰岩製の板石と玉砂利
中央左側に見えるのは階段

(右) 段状に積み上げた跡のある石積み遺構(石塔群)



8 · 10	第39回近世専門部会(史料編「近世Ⅲ」編集項目)
8 · 12	自然史料調査(植生図作成のための現地調査)
8 · 19	近代史料調査(史料編「近代Ⅰ」編集内容) 第45回部長会議(通史編の編集項目、部会間の調整事項)
8 · 21	自然史料調査(植生図作成のための現地調査)
8 · 24	近世史料調査(史料編「近世Ⅲ」編集項目)
8 · 26	中世史料調査(通史編「中世」の編集内容)
8 · 28	中世史料調査(通史編「中世」の編集項目)
8 · 30	市史編纂委員会視察研修(花巻市、弘前市、青森市三内丸山遺跡)
9 · 4	現代史料調査(通史編「現代Ⅰ」編集項目)
9 · 5	近代史料調査(史料編「近代Ⅰ」編集内容) 自然史料調査(通史編「自然・原始・古代」掲載写真の選定)
9 · 13	自然史料調査(通史編「自然・原始・古代」掲載写真の選定) 第46回部長会議(通史編の編集項目、部会間の調整事項)
9 · 14	近代史料調査(史料編「近代Ⅰ」編集打ち合わせ)
9 · 19	近世史料調査(井手家文書検索)
9 · 20	中世史料調査(通史編「中世」目次の節・項目) 原始・古代史料調査(通史編「自然・原始・古代」の構成)
9 · 24	自然史料調査(植生図作成の打ち合わせ)
9 · 25	近代史料調査(史料編「近代Ⅰ」編集内容)
9 · 26	近世史料調査(史料編「近代Ⅰ」筆写史料選定) 第30回自然専門部会(通史編「自然・原始・古代」の構成など)
10 · 1	第43回現代専門部会(通史編「現代Ⅰ」進捗状況、編集校正、入稿)

横井家の人々の思い出（三）



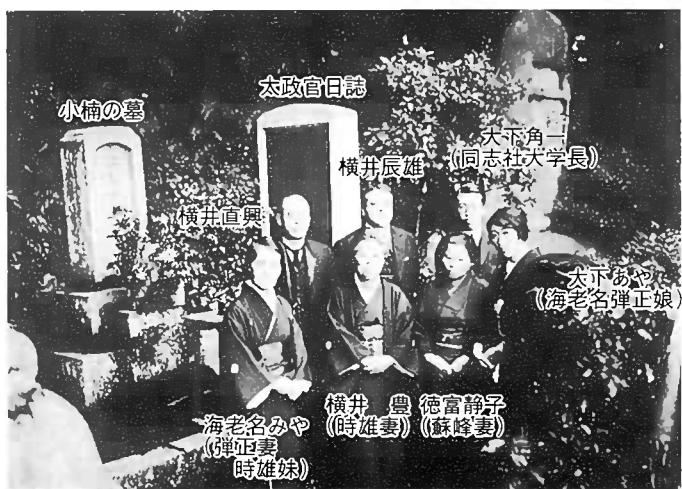
横井和子

復籍した私には、弟亡き後、年老いていく祖母を抱え、横井家のすべてのことが肩にかかるつおりました。

昭和二十八年、横井大平が熊本県文化功労者として顕彰されました時、遺族として御連絡頂きましたのが、熊本市との御縁の始まりでございました。平成六年には、横井玉子が同じく顕彰され表彰式に参列させて頂き、誠に光榮に存じております。

この間に、振り返りますと、沼山津公園に小楠の銅像が建立され、小楠記念館、四時軒復元、京都南禅寺天授庵における百十年祭、靈山に祭祀されるなど、その都度市長様はじめ顕彰会や研究家の皆様の御熱意にふれつつ今日に至りましたことを心から有り難く存じております。

天授庵の小楠の墓に向かって右側の記念碑は五十年祭に徳富蘇峰によつて建立され、銅板に太政官日誌が刻まれておりました。ところが、戦後の混乱期に盜難に遭い、本堂の銅ころが、外され運び去られてしまいました。その後、心にかかりながら修復まで長い年月を経ましたが、富田碎花氏（一八九〇～一九八四 詩人、赤松稔・和子夫妻仲



京都南禅寺天授庵の小楠墓前にて（大正末年ごろ）

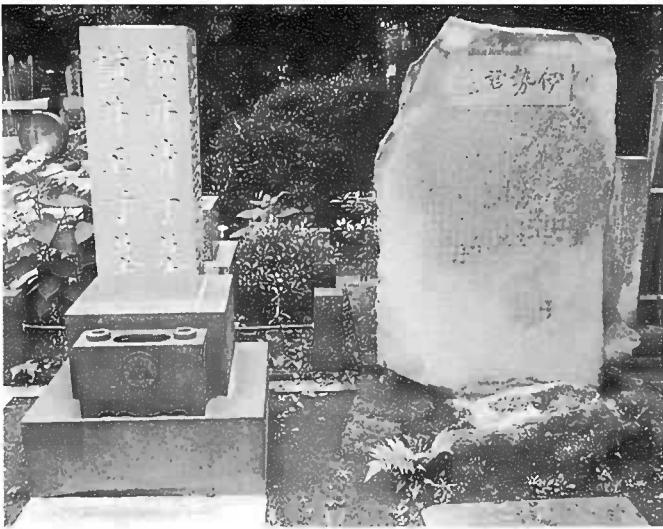
人）に御相談し、現在の様に修復させて頂きました（昭和四十二年十二月完成）。完成して、三宅逸子（徳富蘇峰の娘）に報告し、蘇峰会にも伝えて頂いたことが手紙にも残つております。

この墓前には一对の燈籠がございます。これは昭和四十八年二月十五日に横井小楠顕彰会（名譽会長 星子敏雄、会長 弥富秀次郎、役員 小田亮三・上田紀・上野繁信・住岡清・上田孝徳・光岡達之）の方々がお供えくださつたものでございます。刻まれたお名前も見えました。その後、心にかかりながら紹介いたしました。その後、厚く御礼を申し上げたく存じます。

谷中の墓地には、前にもふれましたが、平

- | | |
|---------|-----------------------------------|
| 10 · 2 | 原始・古代史料調査（通史編「自然・原始・古代の構成」） |
| 10 · 4 | 近代史料調査（史料編「近代I」出稿打ち合わせ） |
| 10 · 8 | 自然史料調査（植生図用航空写真撮影打ち合わせ） |
| 10 · 12 | 近代史料調査（史料編「近代I」筆写史料選定） |
| 10 · 16 | 近代史料調査（史料編「近代I」口絵・同「近代II」収集史料検討） |
| 10 · 23 | お城まつり櫓公開に市史PRコーナー設置 |
| 10 · 24 | 近世史料調査（史料編「近世III」筆写史料選定） |
| 10 · 24 | 近代史料調査（史料編「自然・原始・古代」口絵写真の検討など） |
| 10 · 26 | 近世史料調査（史料編「近世III」筆写史料選定） |
| 10 · 24 | Rコナー設置 |
| 10 · 24 | 第33回中世専門部会（上半期事業経過報告、通史編「中世」編集項目） |
| 10 · 28 | 第47回部会長会議（各部会の進行状況、刊行計画の変更案） |
| 11 · 5 | 現代史料調査（通史編「現代I」の進捗状況、編集校正） |
| 11 · 6 | 近世史料調査（史料編「近世III」筆写史料選定） |
| 11 · 8 | 原始・古代出張調査（更埴市長野歴史館） |
| 11 · 9 | 近世史料調査（史料編「近世III」筆写史料選定） |
| 11 · 11 | 自然史料調査（植生図用航空写真撮影打ち合わせ） |

成五年に女子美大が創立者の横井玉子の墓を探されたのを機会に、左平太（伊勢君）の墓その母横井清子、妻横井玉子の墓を改修し、一箇所に囲み、道標を立てました。その際、伊勢君の墓の碑文（元田永孚による）の拓本を市にお届けし、玉子の命日も墓籍台帳で墓石通り三十六年一月四日と確認いたしました（多くの記事、史料は皆前年の十二月三十一日となっています）。



東京谷中の横井清子・玉子と左平太（伊勢君）の墓

熊本往生院には、草葉教会が御協力くださつた大平の墓がござりますが、お寺の指示で場所を変え、小楠以前の先祖（母、兄等）の墓を建てさせて頂くことになつております。

熊本市と福井市との姉妹都市の御縁ができました時、私の母の妹にあたる叔母毛利猶子なねがで

が殊の外喜びまして、松平家と横井家の奇しきつながりを改めて語つてくれました。

春嶽公の娘正子様は男爵毛利五郎と結婚されまして、その三男猷三郎のもとに叔母は嫁きました。私は叔母から、正子様に嫁としてお仕えし可愛がられた思い出などとともに、毛利家の従兄妹二人と私は春嶽公と横井小楠のそれぞれ曾孫であることを聞きました。この度の姉妹都市締結を、ひとしお嬉しく思つたことでございました。

横井家には私どもの後見人として、父の弟にあたる叔父辰雄の一家がおりました。しかし、立派な青年であつた従兄弟健雄は、フイリピンで戦死し、従姉妹寿美子も夭逝して、只今は叔母寿（岡山石黒家）を残すのみとなりました。

何かと至りませんが、私の手許にあつた資料はすべて公の場に移し所在を明らかにしてございますので御研究頂きたく存じます。この機会に平素の御無礼をお詫びし、感謝とともに筆を置かせて頂きます。



往生院の横井大平の墓

新熊本市史編纂委員の紹介

昨年5月30日付け（敬称略）

下津昌司（自然専門部会専門員、熊本大学工学部教授）

新熊本市史 刊行年次計画

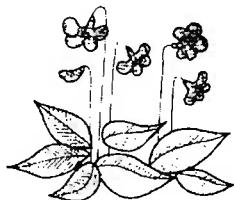
第19回編纂委員会において
下記のとおりに変更されました。

	書名	発刊年度
通史編	第1巻 自然・原始・古代	9
	第2巻 中世	9
	第3巻 近世I	12
	第4巻 近世II	14
	第5巻 近代I	11
	第6巻 近代II	13
	第7巻 近代III	14
	第8巻 現代I	8 ※
	第9巻 現代II	10
史料編	第1巻 考古資料	発売中(5,700円)
	第2巻 古代・中世	発売中(3,700円)
	第3巻 近世I	発売中(3,700円)
	第4巻 近世II	発売中(4,800円)
	第5巻 近世III	9
	第6巻 近代I	8 ※
	第7巻 近代II	10
	第8巻 現代	発売中(3,700円)
	第9巻 新聞上近代	発売中(3,700円)
別編	第9巻 新聞下現代	発売中(3,700円)
	第1巻 絵図・地図	発売中(10,300円)
	第2巻 民俗・文化財	発売中(5,300円)
	第3巻 年表・索引	14

既刊

※近日発売予定

(市内主要書店で販売、価格は今年3月現在)



史料調査にご協力いただいた方々（昨年7月～12月）

弥富孝一（沼山津三子目）、坂本信臣（黒髪三子目）、中山政孝（坪井一子目）、宮本勝行（河原町）、甲斐恒喜（二本木三子目）、岡山倫子（南高江町）、直入セツ（川尻四丁目）、安藤史郎（京町二子目）、松井ヤヨイ（松橋町）、中根正典（茨木市）、土山洸（土山町）、安田正造（三木市）

勝浦市教育委員会、佐原市教育委員会、弘前市立図書館、熊本大学附属図書館、株肥後銀行、熊本白川教会、王榮幼稚園、熊本聖三一教会、熊本草葉町教会、県立図書館、県河川課、市立図書館、西部市民センター、環境総合センター、市統計課

（敬称略）

▽この5月から「男子世界ハンドボール選手権大会」が熊本市を中心に開催されます。かつて昭和35年の国体を契機に都市基盤整備が進んだように、スポーツも街づくりの歴史の一端を担つてきました。座談会にもありました。この度の世界大会や来年の未来国体の成功、そして街づくりの進展への期待が高まります。

▽金峰山南東麓の池辺寺跡が国指定史跡となりそうです。これで市内の国指定史跡は特別史跡の熊本城跡を含めると7件となります。昨秋の県民文化祭で、「池辺寺縁起」が創作日本舞踊で舞台化されるなど「熊本城以前」の歴史にも脚光が当たって来ています。

▽とはいって、熊本のシンボルといえば熊本城。築城400年に当たる10年後を一つのめどに、本丸御殿やいくつかの櫓など、本格的な復元を進めの構想です。古絵図や古写真に残る雄姿がよみがえると想像するだけでわくわくします。

▽「新熊本市史」もいよいよ通史編の刊行が始まります。歴史都市熊本の姿を生き生きと浮き彫りにしていくように、一層努力していきたいと思います。

史料の提供にご協力を

皆さんの身近に「史料」がありましたら、ご提供をお願いします。

熊本市市史編纂課
〒860-0963 熊本市手取本町1-1